

# 縄文シティサミット in きたあきた

縄文文化が未来を拓く



日時 **9/9日** 10:00-12:30

会場 北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」  
(1F多目的ホール) 〒018-3312 北秋田市花園町10-5

入場  
無料

第1部 記念対談 「縄文文化が未来を拓く」



小林 達雄氏  
(考古学者)

対談



鴻池 朋子氏  
(現代アーティスト)

第2部 首長討論 「遺跡を守り、活用する」

パネラー 縄文都市連絡協議会加盟都市首長  
富樫 泰時氏(伊勢堂岱縄文館名誉館長)

コーディネーター 根岸 洋氏(国際教養大学助教)

第18回 北秋田市 縄文まつり

9月8日(土)

11:00-15:00

伊勢堂岱縄文館



主催 》縄文シティサミット in きたあきた実行委員会・北秋田市

加盟都市 》青森市・伊達市・洞爺湖町・函館市・鹿角市・大館市・北秋田市・秋田市・東松島市・福島市・糸魚川市・塩尻市・小矢部市・恵那市・若狭町・霧島市  
問合せ 》北秋田市教育委員会生涯学習課 〒018-3312 北秋田市花園町 10-5 TEL0186-62-6618 FAX0186-62-1669

**小林 達雄** (こばやし たつお)

考古学者

縄文文化研究の権威。専門は考古学（博士）。東京都教育庁文化課、文化庁文化財調査官を歴任。1978年に國學院大學助教授を経て、教授、定年退任後は名誉教授となる。1997年から2017年まで伊勢堂岱遺跡の調査・整備検討委員長を務め、現在は新潟県立歴史博物館名誉館長ほか。

著書に『縄文人の世界』『世界遺産縄文遺跡』『縄文の思考』など多数。最新刊『縄文文化が日本人の未来を拓く』は好評。

2020年のオリンピック・パラリンピックを契機として国内外に縄文文化を広く発信する「縄文文化発信サポーターズ」の会長も努める。

**鴻池 朋子** (こうのいけ ともこ)

現代アーティスト

秋田県生まれ。1985年東京藝術大学卒業後、玩具のデザインに携わり、1998年より絵画、彫刻、アニメ、絵本など様々なメディアを用い、トータルインスタレーションで現代の神話を表現。おとぎ話、考古学、人類学研究者らと展覧会を重ね芸術の問い直しを試みている。

主な個展に2006年「第0章」大原美術館、2009年「インタートラベラー 神話と遊ぶ人」東京オペラシティ（霧島アートの森巡回）、2011年「獣の皮を被り 草の編み物」ギャラリーヒュンダイ（韓国）、2013年「Earthshine」ウェンディ・ノリス ギャラリー（サンフランシスコ）、2015年「根源的暴力」神奈川県民ホール／芸術選奨文部科学大臣賞受賞（群馬県立近代美術館、新潟県立万代島美術館巡回）、個展「Fur Story」Leeds Arts University（イギリス）'18。など。

主なグループ展に2008年「広州トリエンナーレ」（中国）、2010年「釜山ビエンナーレ」（韓国）、近年では「Temporal Turn」スパンサー美術館・自然史博物館（カンザス大学）2016、「Japan-Spirits of Nature」アクバラル美術館（スウェーデン）2017、「Kalevala」ケラバ美術館（フィンランド）2018など。

プロジェクトは2012年「東北を開く神話」（秋田県立美術館）、森吉山での「美術館ロッジ」、2014年～「物語るテーブルランナー」（北秋田市、青森市、珠洲市、タスマニア、フィンランド）など。

著書「どうぶつのことば～根源的暴力を超えて」（羽鳥書店）他。

今年9月15日から11月25日まで、秋田県立近代美術館にて特別展「鴻池朋子 ハンターギャザラー」展を開催。